

自主規制組織としてのJANSIの活動について

一般社団法人 原子力安全推進協会

理事長 山崎広美

2020年2月13日

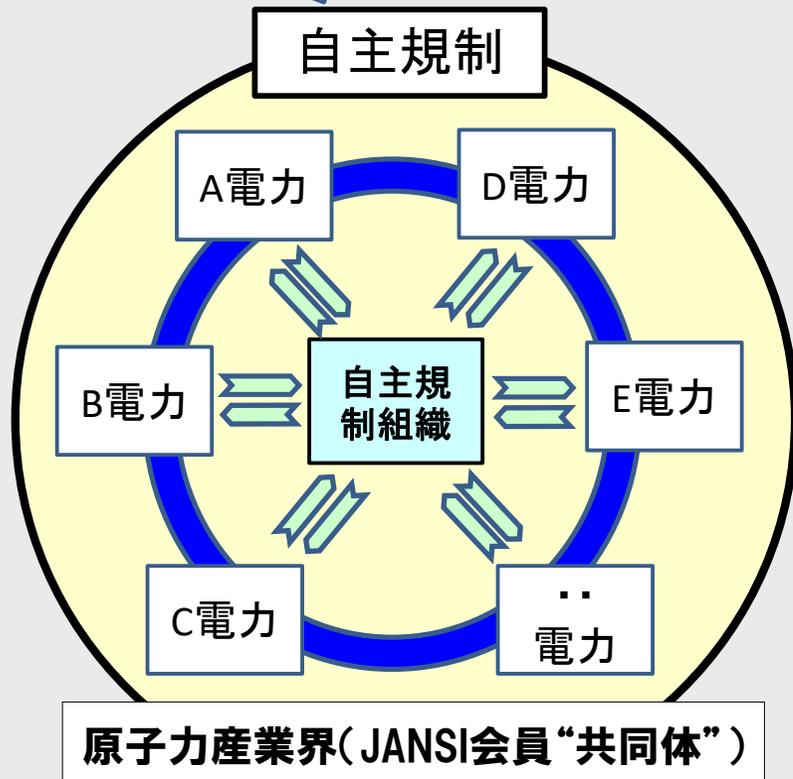
- ・継続的な原子力安全の向上
- ・産業界一体となった取り組み

【JANSI会員(事業者)】

- **自主規制の主体**として、共同体としての責務を果たし、一体的な安全性向上への取り組みを継続
- 原子力施設の安全に対する**個別および集団的責任**
- 自主規制組織が**ミッションを遂行するための権威の付与**

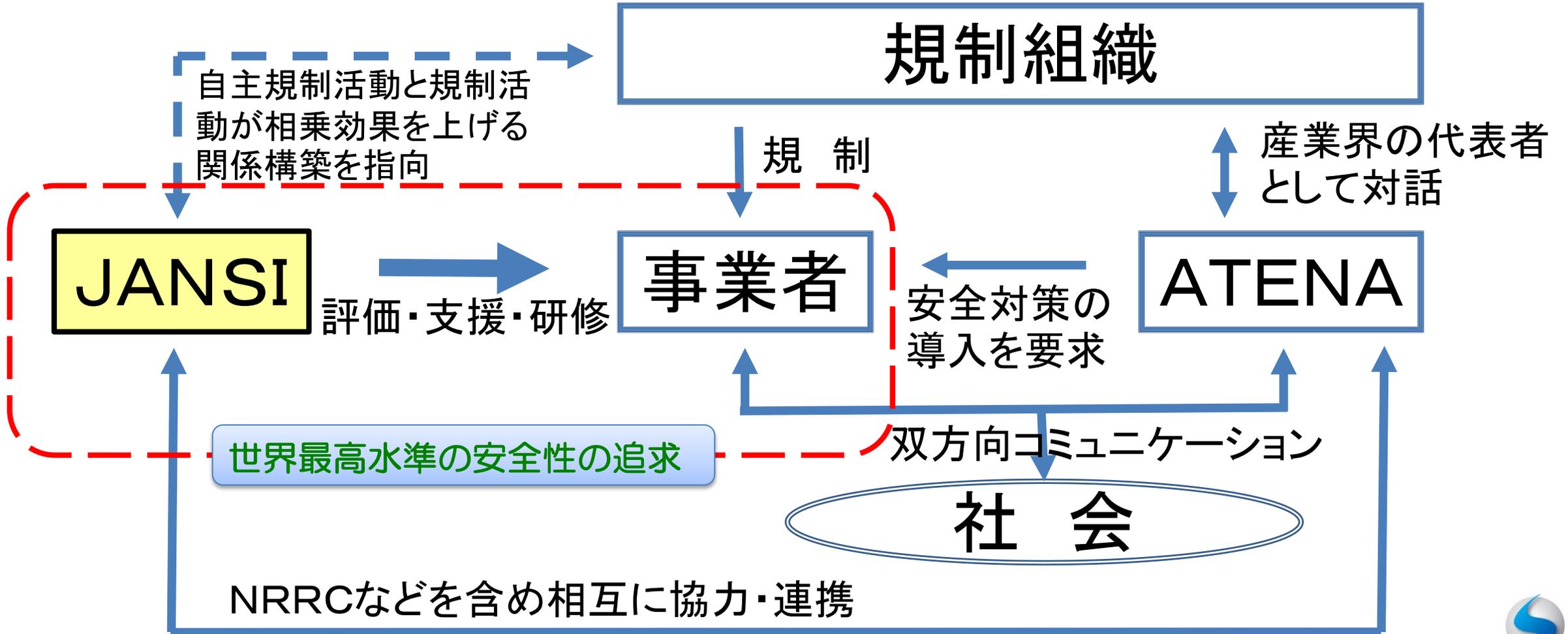
【JANSI(自主規制組織)】

- **自主規制を効果的、効率的に進める役割と責任**
 - ・自主規制活動を評価・監視するWatchdog
 - ・活動を活性化するCatalyst
 - ・道程を示し、活動を促進するFacilitator
 - ・確固とした拠りどころとしてのAccountable Agent
- 自主規制組織の権威の裏付となる**技術力**
- **規制との適切な関係**



原子力産業界におけるJANSIの役割

共通のゴール：原子力の安全性向上



○評価(ピアレビュー)と支援のサイクル

- JANSI発足(2012年)以降、**19回**実施
- ピアレビューにより発電所の課題を評価するとともに、改善対策セミナー、ベンチマーク訪問、研修、連絡代表者(SR)訪問、専門分野別の相談窓口(TCP)などにより発電所を支援

○自主的安全性向上基盤プログラムの充実

- 自主的安全性向上活動の基盤となるプログラムの考え方を整理し、事業者にエクセレンスを示す活動を展開中(是正措置プログラム(CAP)、構成管理(CM)、共通自主PI(パフォーマンス指標)、リスクマネジメント(RM)のガイドラインを制定済み、引き続き活用に向けた支援を継続中)

○発電所再稼働の支援

- 先行プラントとの意見交換、事業者エキスパートによるウォークダウンなどの支援を実施
- 事業者間の連携を強化し、支援の実効性を向上

○運転経験情報(OE)の活用

- 国内外のOE情報を収集、分析し、必要に応じて事業者に対策等を提示(JANSI発足以降、重要度文書等を20件、注意喚起文書を6件発信)
- 国内OE情報は公開データベース(NUCIA)に登録するとともに、必要に応じて水平展開などの対応を求めている

○安全文化診断

- 安全文化アンケート : 特別会員、準特別会員を対象に、3年毎に定点観測として実施
(トレンド比較、統計的分析により会間での相対比較等が可能)
- 安全文化診断 : 3年毎のアンケート結果を基に、発電所、主要なプラントメーカー、燃料加工メーカーを対象として、3～4年周期で実施 (現場の生の声が聞ける、潜在的な問題点を把握できる)

○安全性向上策の提言

- IAEAの評価手法に基づき、SA対策にかかる国内発電所の現状を評価し、必要に応じて提言を行う
- これまで、6件の提言を行っており、事業者の取り組みをフォローしている

○発電所総合評価システムの導入(2016年度より運用開始)

- 2018年度実績に基づく評価を実施し、2019年11月に、CEOセッションで情報を共有
- この評価結果は2019年度のJANSI会費に反映
- 発電所表彰(2018年 3発電所、2019年 1発電所)

○リーダーシップ研修

- 緊急時のノンテクニカルスキル醸成に焦点を当てた研修を企画・実施
- 当直副長から発電所長、CEO/CNOなど、各管理層を対象に職制に応じた10コースを提供



「Nuclear Safety」

【原子力安全にフォーカス】

「Community Committed to Excellence」

【常にエクセレンスを追求する共同体】